

# 活弁って おもしろい!

～活弁から見る忠臣蔵の世界～

演目：『実録忠臣蔵』（牧野省三監督、1928年）

忠臣蔵は江戸時代に起きた赤穂事件を基にして、文楽、歌舞伎、講談、浪曲、映画、テレビドラマなど、さまざまな芸能で美談として語り継がれてきました。現代に至るまで日本人に根強い人気を誇っている忠臣蔵を、活弁でもお楽しみ頂こうという、めったに体験できない企画です。



© 戎康友

カツベンシ

麻生 子八咫 あそう こやた

1985年生まれ。幼少期より父・麻生子八咫の活弁の舞台を見て育つ。10歳の時に浅草木馬亭にて活弁士としてプロデビュー。2003年には第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会にて最優秀賞である文部科学大臣杯を受賞。2008年高校の英語の教科書『All aboard II』（東京書籍）「A Young Katsubenshi」として紹介される。20015年日本弁論連盟理事に就任。2016年麻生子八咫・子八咫の記念切手発売。2020年3月東京大学大学院総合文化研究科博士過程を満期退学。2022年10月埼玉県鴻巣市の観光大使に就任。著作には、『映画ライブそれが人生』（高木書房、2009）麻生子八咫・子八咫共著がある。劇中活弁、方言活弁、舞台の演出・脚本、司会等、さまざまな舞台活動を行なう。英語公演にも力を入れており、海外ではアメリカではシアトル、オハイオ州・ミシガン州の10箇所、カナダバンクーバー、韓国ソウルなどでの公演などがある。

日時

11月3日（金・祝） 14:00～15:30（13:30開場）

会場

産業振興センター 小ホール（札の辻スクエア11階）

対象

どなたでも 50名（申込順）

申込

10月10日（火）から三田図書館カウンターまたはお電話で受付

港区立三田図書館

☎ 03-3452-4951 港区芝5-36-4  
都営三田線・浅草線三田駅 A3 出口 / JR 田町駅三田口